

# 1 阪神北地域里山博物館構想

## 背景

(1) 日本一とも言われる里山をはじめ里山林整備地等、豊かな里山資源  
 (2) 里山保全活動や環境教育等、多様な主体による里山に関する多くのイベント  
 (3) 全国育樹祭開催による里山保全への関心の高まり

## 課題

(1) 豊かな里山資源が十分には知られていない  
 (2) 里山に関する多くのイベントがバラバラに発信されてわかりにくい  
 (3) 全国育樹祭開催の成果である里山保全への関心の高まりをいかに継承し実践していくか。

## 必要な機能

(1) 日本一とも言われる里山をはじめとする豊かな里山資源のPR  
 (2) 里山に関する多くのイベントを整理してわかり易く発信  
 (3) 里山保全への関心を整備に結びつけていく仕組み

**目的**  
 里山に関する情報の一元化的な発信  
 利用促進による里山林整備の推進  
 全国育樹祭の成果の継承

里山林の保全

## 阪神北里山博物館

実施体制	
推進協議会	関係団体、関係機関等係を幅広く参集(ボランティア、しいたけ生産者、市町、森のインストラクター、森林所有者、販売施設、研究者、等)将来的にはNPO法人化も検討

展示物	
里山資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西市黒川日本一の里山(モザイク状の里山、炭窯、台場クヌギ)</li> <li>・里山林整備地(亦楽山荘、ななまつの森、観福の森、栃原めぐみの森)</li> <li>・県立公園(有馬富士公園、一庫公園)</li> <li>・宝塚市西谷県有地里山林整備地</li> <li>・CSR施設</li> <li>・猪名川町柏原棚田風景</li> </ul>
各種活動、イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林ボランティア活動</li> <li>・自然教室</li> <li>・里山ハイク</li> <li>・森の遊び場づくり</li> <li>・炭焼き体験</li> <li>・原木しいたけ栽培教室</li> <li>・クラフト講座</li> <li>・まつたけ山再生講座</li> <li>・きのこ栽培教室</li> </ul>



### 事業計画

情報発信	テーマ館開設	バーチャル展示(ホームページ)、巡回展示
	紹介パンフ、情報誌	地域の里山資源を紹介、各種イベント予定の掲載
	里山まつり	多くの人に実際に里山を体験してもらう
保全活動	重点地区	関心を高めるため設定
	森林ボランティア活動支援	各種助成等の実施
	里山勉強会	多くの人に里山について興味を持ってもらうため開催
利用促進機能	里山利用講座	多様な里山利用方法を普及していく
	利用可能な里山の提供	里山林整備地の提供や、市民森林制度を推進し斡旋していく
	里山利用コンテスト	賞品として里山利用権を用意する
	利用促進モデル林	遊び場、しいたけ原木、薪採取、まつたけ山等

## 2 里山林活用支援事業～地域住民による北摂山地の里山整備～

主体

兵庫県（地域振興部宝塚農林振興事務所林業課）

事業場所

阪神北地域

趣旨・目的

都市部に近接し、全国にも珍しい阪神北地域の里山を県民に紹介するとともに、里山保全に向けた森林ボランティア活動への参加啓発・普及啓発による活動の充実と理解促進を図る。

これにより自然豊かな里山林の保全を推進するとともに、県民に「みどり」としての豊かな自然景観と憩い・交流の場を提供する。

平成18年度の取り組み

阪神北地域の里山資源の状況を市民参加で調査し、報告書を作成する。

平成19年度以降の取り組み

作成したマニュアル、パンフレット、パネル、調査結果を活用して里山保全活動の活発化を図り里山保全を推進する。

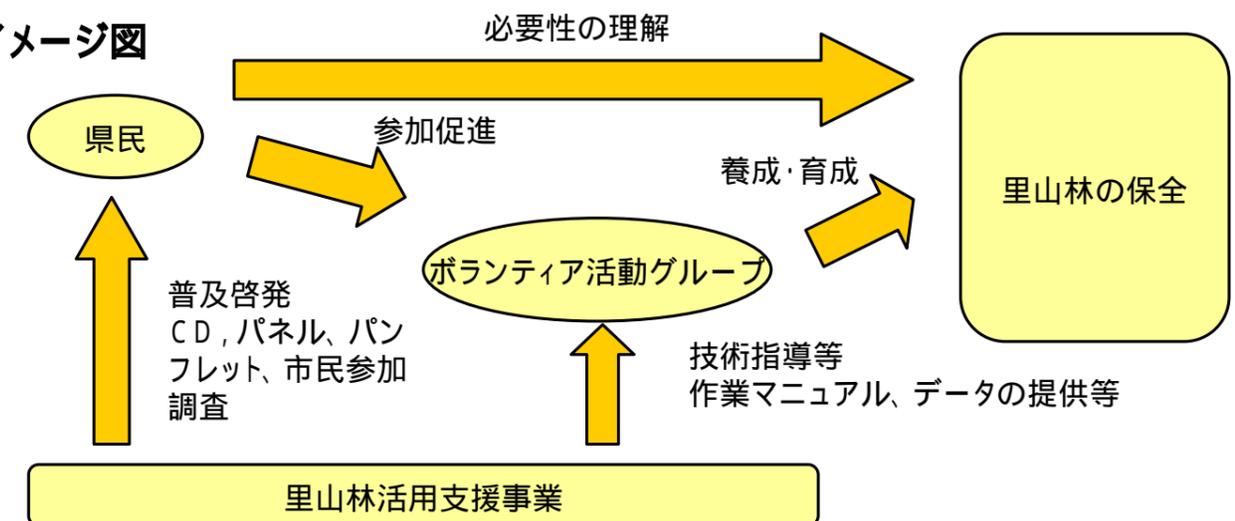
事業内容

（平成16年度）  
1 作業マニュアル作成  
・里山検討委員会の設置  
・里山資源の調査  
・作業マニュアル、里山ガイドの作成  
2 ボランティアのネットワーク化の推進

（平成17年度）  
1 普及啓発  
・里山を紹介するパネルとCD-R・パンフの作成  
・普及啓発と現地活動指導（既定経費）  
2 ボランティアのネットワーク化の推進（本庁で事業化）

（平成18年度）  
1 調査  
・阪神北地域の里山資源、データの調査を市民参加で実施  
2 普及啓発  
・調査結果を報告書にまとめて、広く紹介する

イメージ図



事業実施上の課題等

人と自然の博物館との連携を図りながら事業推進を行う必要がある。

### 3 阪神北里山博物館推進事業（新規）

#### 主体

兵庫県（地域振興部宝塚農林振興事務所林業課）

#### 事業場所

阪神北地域

#### 趣旨・目的（or事業の背景）

阪神北地域は、大都市近郊にもかかわらず、豊かな里山林が広がっており、一部には日本一とも言われる全国的に貴重な現在でも利用されている里山林が残っているのを始め、整備された里山林、森林ボランティア活動をはじめとする多くの活動やイベント等、里山に関する豊富なコンテンツを有している。

これらをエコミュージアムの手法で分かりやすく発信するとともに、里山利用を推進することにより、里山保全を図るとともに全国育樹祭の成果の継承をめざす。

#### 事業内容

##### 1 里山博物館推進事業

情報発信、利用促進、保全活動推進、推進体制づくりを進める。

例）協議会の開催、ホームページの開設、イベントの開催、利用講座の開催、里山勉強会の開催等

##### 2 学校森林ボランティア体験事業

管内の里山を活用して、森林ボランティアと小中学生の連携により、森林ボランティア体験を実施する。

研修内容：里山の現状と役割、里山の自然学習、里山整備体験等

対象者：管内の小中学校 8校

実施期間：平成18年度～22年度

#### 事業実施上の課題等

関係部局や教育委員会等との調整を十分に行う必要がある。また、人と自然の博物館の指導を受けながら事業推進を図る必要がある。

#### 平成18年度の取り組み

協議会開催

森林ボランティア活動の推進

ホームページ開設

里山まつり開催

#### 平成19年度以降の取り組み

協議会開催

利用促進モデル林整備

里山まつり

里山利用講座

利用可能な里山林あっせん

パンフレット

里山勉強会



## 4 阪神北里山博物館「黒川里山まつり開催概要案

### 主体

主催：里地博物館協議会（黒川まちづくり推進協議会、川西市、兵庫県阪神北県民局等）  
共催：環境省、人と自然の博物館

### 事業場所

黒川公民館、炭窯、黒川周辺里山、ダリア園等

### 趣旨・目的

日本一とも言われる阪神北地域の里山自然を広く紹介するとともに、利用を活発化し里山整備を推進する「阪神北里山博物館」の主要なイベントとして、また、全国育樹祭を契機に盛り上がった森づくりの機運を継続するため制定された「ひょうご森の日」のイベントとして森の重要性への理解を深め、県民参加の森づくり活動の輪を広げるため開催する。



事業名	内容
里山体験ハイク	モザイク状の里山景観、台場くぬぎ、炭焼き、木造校舎等を見学
森林ボランティア体験	ボランティア団体による里山体験
里山クラフト体験	里山の産物による木工、クラフト体験
里山勉強会	里山について学ぶ
里山の展示、写真展	黒川小学校の木造校舎、里山写真展
森林利用体験	遊び場づくり、森林セラピー
原木しいたけ植菌教室	マンションのベランダでもできる原木シイタケの栽培教室
料理提供	シイタケ、北摂くり等地元の食材生かした料理の提供
農産物等販売	農産物、食べ物、飲み物等の販売
里山利用モデル林展示	デッキ、ピザ窯等、ファミリーでも利用可能なモデルの展示
緑の少年団交流集会	里山観察会、ボランティア体験、里山クラフト体験、クイズ等
薪ストーブ展示	薪ストーブの展示と、薪を採集できる里山の斡旋
ため池クイズ	ため池の展示とクイズ

## 事業進行表

アカマツ林・コナラ林の里山の維持管理	事業名	関係主体	今後の取り組み				
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度以降	
4 箇所の里山林再生事業地では森林ボランティアなどにより維持管理が進められており、地元の方との連携、協働が図られています。活動の活発化を図り、地元とのさらなる連携、整備面積の拡大を目指します。また、現在整備が進められている宝塚市大原野のCSR事業地は、里山保全の活動拠点となると考えられます。この場を活用し、里地里山における生物、生態系保全の重要性や実際の保全活動などを学習、体験ができる場を目指します。また、有馬富士公園では自主企画プログラムの中には里山プログラムも含まれおり、公園の里地里山保全再生を一部担っています。	1	里山ふれあいの森づくり (ミニ里山公園型)	兵庫県(農林水産部農林水産局豊かな森づくり室)	平成17年度から22年度にかけて、合計50箇所、1,000ヘクタールを整備の予定			
	2	里山ふれあいの森づくり (住民参加型)	兵庫県(農林水産部農林水産局豊かな森づくり室)	平成18年度から22年度にかけて、合計100箇所、200ヘクタールを整備の予定			
	3	桜の園「亦楽山荘」他におけるボランティア活動	櫻守の会	亦楽山荘での桜の育成整備、周囲の里山林の環境整備(園路整備など)を進めていく			
	4	高平ナナマツの森における里山保全活動	上槻瀬区、三田里山どんぐりくらぶ、三田市	里山林整備事業後の里山林の保育管理を進めていく			
	5	高平観福の森における里山保全活動	観福の森運営委員会、三田里山どんぐりくらぶ、三田市	里山林整備事業後の里山林の保育管理を進めていく			
	6	有馬富士公園「夢プログラム」事業	兵庫県(公園緑地課、阪神北県民局)、人と自然の博物館、有馬富士公園管理事務所など	夢プログラムの募集、セミナー開催、フォーラム開催などを進めていく			
	7	阪神野外CSR施設整備、運営	兵庫県、宝塚市				
クヌギ林の里山の維持再生	事業名	関係主体	今後の取り組み				
黒川地位は生きた日本一の里山を身近に見ることができるのは唯一の場所であり、ボランティアと地元との協働により日本一の里山のシンボルとして、生産林の保全、維持を目指します。その一環として民間企業との共同事業として能勢電鉄株式会社の社有地にてクヌギの里山再生・保全活動を展開します。また、一庫公園内に広がるクヌギ林では、公園管理事務所及びボランティアによる見本林の試験的整備や炭焼き体験で環境教育、広報の場としての活動が期待できます。さらに一庫ダムではまとまった面積の土地を所有しています。その場所を活用し、クヌギ林の再生を行います。	1	能勢電鉄社有地における里山林活動	能勢電鉄株式会社、川西里山クラブ等	里山林整備事業とその後の維持管理、里山ハイキングなどの普及啓発を継続			
	2	里山林活用型しいたけ生産体制整備事業	兵庫県(地域振興部宝塚農林振興事務所林業課)	協議会設立・ホームページ開設			
	3	川西市黒川地区整備	黒川まちづくり推進協議会、川西市、兵庫県	まちづくり協議会を中心とした地元主導の検討・里地保全のメッカであることのPR			
	4	一庫公園における里山モデルづくり	県公園緑地課、阪神北県民局宝塚土木事務所、(財)兵庫県園芸・公園協会	コーディネーション機能強化	コーディネータと住民との連携体制の強化、クヌギ林の再生		
	5	一庫公園におけるクヌギ伐採・再生および炭焼き体験	ひとくらクラブ	毎年100m <sup>2</sup> 、クヌギ30本程度の伐採・炭焼き・萌芽再生を継続			
	6	一庫ダムにおける里地里山保全活動	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会	「クヌギを植えて里山を造ろう大作戦」「台場クヌギをつくろう大作戦」の継続			

# 事業進行表

ため池・湿地・棚田の維持管理		事業名	関係主体	今後の取り組み				
				平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度以降	
宝塚市の天然記念物である松尾湿原は荒廃が進んでいましたが、現在は保全再生に向けた活動が行われ、環境学習の拠点となっています。猪名川町柏原の棚田では、平成19年度より農地・農業用排水路、ため池などの地域資源を将来にわたり良好な状態で保全していく地域ぐるみの質の高い取り組みが行われようとしています。兵庫県でも最大級の湿地である丸山湿原には多くの貴重な植物、昆虫類が確認されており、大規模な保全、再生のための整備が実施されています。	1	松尾湿原における里山管理（集水域間伐）事業	宝塚エコネット、他	50%進行	70%進行	90%進行	低木除去	
	2	松尾湿原の遷移防止・復元（湿原内腐葉土除去）事業	宝塚市自然保護協会、他	年2回	年2回	年2回	年2回	
	4	松雄湿原の環境教育・学習（自然観察）事業、湿原生物調査事業	宝塚市自然保護協会、他	年5回実施	年5回実施	年5回実施	年5回実施	
	6	柏原の棚田における農地・水・環境保全向上対策、中山間地域等直接支払交付金	地元活動組織（柏原集落）					
全 域	No.	事業名	関係主体	今後の取り組み	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度以降
北摂地域は、歴史ある一庫炭生産の場である里山と兵庫方式による先進的管理がなされた里山が混在する、全国的にも珍しい地域といえます。この全域の里山を「里山博物館」として位置づけ、その価値を認識し全国に情報発信する事業が始まっています。	1	阪神北地域里山博物館構想	兵庫県、川西市、能勢電鉄、黒川コミュニティ、川西里山クラブ、人と自然の博物館、特用林産産業等	里山資源のPR、多くのイベントを整理しわかり易く発信、関心を整備に結びつける仕組み				
	2	里山林活用支援事業～地域住民による北摂山地の里山整備～	兵庫県（地域振興部宝塚農林振興事務所林業課）	市民参加調査	マニュアル等を活用し里山保全活動の活発化を図り保全を推進			
	3	阪神北里山博物館推進事業	兵庫県（地域振興部宝塚農林振興事務所林業課）	協議会開催等	利用促進モデル林、里山利用講座、パンフ作成、里山勉強会			
	3	阪神北里山まつり開催	里山博物館協議会、環境省、一庫管理事務所、一庫公園等					

## 6. 北摂地域における総合的取り組み事項

本モデル事業においては、北摂地域を舞台に、さまざまな主体ができる範囲で保全再生に係る取り組みを実施します。前節に列記したような個別の取り組みに加え、地域全体として総合的に取り組むべき事項もあります。このような総合的取り組みを進めることによって、個々の取り組みの質が高められ、将来的には新たな取り組みが生じて里地里山の環境の質が向上することが期待されます。

### 1) 拠点施設・各種活動団体のネットワークの強化

北摂地域は3市1町からなりますが、里地里山保全の拠点となりうる施設が点在しています。三田市では人と自然の博物館及び県立有馬富士公園、宝塚市では市立少年自然の家、川西市では県立一庫公園が挙げられます。それぞれの施設は、設立目的や管理団体が異なるものの、いずれも里地里山の維持、保全、利用に関連しており、今後の保全活動に際して重要な役割を果たすことが期待されます。また、宝塚市では県によるCSR事業が始まっており、今後の里地里山保全の拠点として期待されます。さらに、川西市の能勢電鉄株式会社は社有地に広大な里山を持ち、里山林のハイキングなど、里地里山の環境を維持活用するための取り組みを実施しています。

この地域には里地里山で活動する市民団体、NPOが多く存在します。懇談会メンバーを構成する団体によっても多くのユニークな活動が展開されており、その点でも全国的に注目されます。今後は、それらの主体の間でさらなるネットワークの強化を図ります。

### 2) 人と自然の博物館における研究成果の活用

兵庫県立人と自然の博物館は、北摂地域をはじめとする県下の自然環境の研究拠点として重要な役割を果たしています。服部保委員の里山研究においては、広く全国の里山を対象として、さまざまな科学的知見が蓄積されています。県農林水産部豊かな森づくり室が推し進める里山林再生事業をはじめ、人と自然の博物館の研究成果はすでにいくつもの行政事業に活用されています。現在も多くの自然科学的・社会科学的研究が進行しており、それらの成果を活かした事業の展開が期待されます。

### 3) 全国への情報発信

北摂地域においては、人口密集地と自然の残る里地里山が接しており、里地里山の維持管理を目的としたさまざまな活動が展開されています。平成18年2月4日に川西市で開催された里山シンポジウムに多くの参加者がある等、地域住民の意識も高く、行政の事業においても環境配慮に多くの関心が集まるようです。このような状況において、当該地域の里地里山の環境を維持するためのさまざまな取り組みは全国の手本になると考えられます。

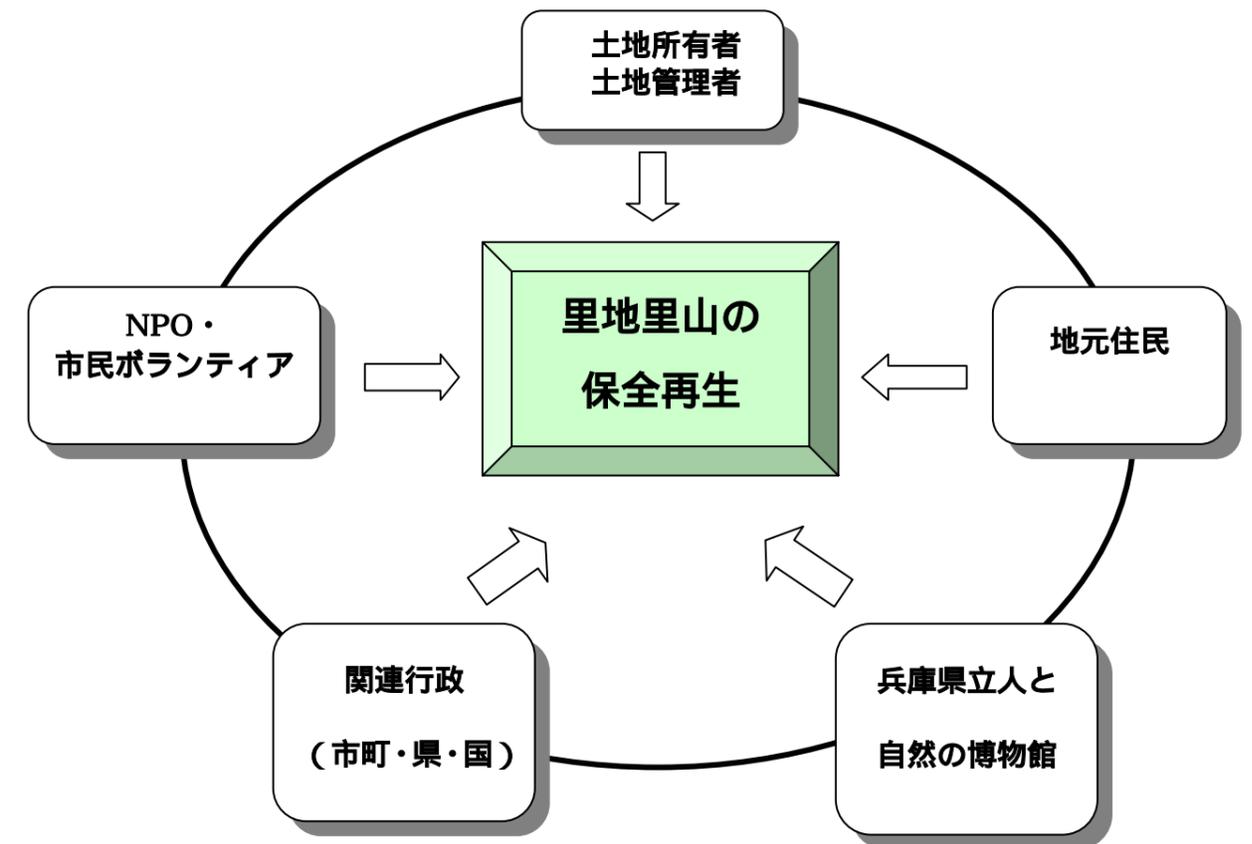
具体的な手法としては、HPによる取り組み事例の紹介などの情報発信が想定されます。

### 4) 産・官・学・市民が一体となった里地里山の保全・活用

北摂地域では、変化に富んだ環境において企業、行政、研究機関、市民（地域住民及びNPO）といった多くの主体が積極的に里地里山の維持管理と活用に関わっています。これまで個別に実施されてきたそのような活動が、一定の情報共有のもとで一体的になされるようになれば、里地里山の保全活用がさらに進行すると期待されます。

平成18年度からは、阪神北県民局が主体となった「阪神北里山博物館推進事業」が開始され、その一環として地元住民との協働により「黒川里山まつり」が計画されるなど、具体的な事業が展開されています。

一方で、整備された里地里山に他地域の人が勝手に入り込みゴミを捨てる等の問題点も指摘されています。地域住民の快適な生活を確保し、これからの里地里山の賢明な利用を図るため、一定のルールが必要になると考えられます。



本事業において想定される連携のイメージ